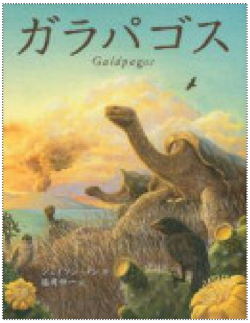
[ちしき]　対象：小学（中）小学（高）

ガラパゴス

チン作　福岡伸一訳　講談社

六百万年前、海面下の火山の噴火により、新しい島が誕生した。木の種や海鳥、ウミイグアナなどが島にたどりつき、生き物がくらしはじめる。何百万年ものあいだに、島も生き物も変化をとげていく。大きい実を割って、干ばつを乗りきろうと、フィンチのくちばしは大きくなった。天敵のいない鵜は、飛んで逃げる必要がないため、羽が小さくなった。

　地球上でここにしかいない動植物が数多く生息するガラパゴス諸島が、どのようにして今の姿になったのかを、コマ割りの絵で紹介します。